

高尾山 季節散歩

層の言葉
「七十二候」
菊花開
「きくのはなひらく」
十月十三日〜十月十七日頃
十月中旬になると、菊の花が見頃となり、各地で菊祭りや菊花展が開かれております。
菊の花は平安時代に中国から持ち込まれたとされます。今では皇室の御紋となっており、桜と並び日本を代表する花です。

今月の風物詩 栗

栗はドングリの一種で、縄文時代から栽培されて食用となっており、イガに包まれた実は栗ご飯や栗きんとん、甘栗等の食材として親しまれております。
木は硬くて腐りにくいため、古くから建築材として利用されてきました。

健康登山者投稿作品

季節の絵手紙「ツリフネソウ」

八王子市 梶谷玲子 様

とても助かっています



一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

六十九段 一番だしやすいのは自分です

他人をだますというのは難しいものです。相手が信じるような証拠を出して、説得しなければなりません。しかし、自分をだますというのは簡単なもので、多少怪しくても、自分に都合の良い情報だけ聞いて信じてしまいます。

健康登山者投稿作品

布流滝のお不動様

匿名希望

大師堂から飯縄権現堂へと登る階段の途中に、後背に彩色されたお不動様が安置されています。このお不動様は、以前は布流滝にお祀りされていたお不動様です。

今から十五年程前のごとですが、そのお不動様と不思議な御縁を頂きました。当時私は坐骨神経痛による足の痛みを治す方法がなく、苦しみ乍ら高尾山の一号路を毎日登拝しておりました。

ある日、布流滝の坂の途中で突然足が痛み、痛みの苦しみを紛らわすために両親を思い出して、幻想で荷車に乗って貰って運ぶことにしました。荷車を引くことで、痛みの苦しみを荷車を引く力に転換していると、足の痛みを忘れていました。金毘羅台の曲がりの坂



山上に遷座されたお不動様 雨の日は彩色が濃く見えます

道辺りで荷車に石の仏像が乗っているように感じました。苦しみを登り坂を引いて、途中リフトの坂下まで来た時、二本の杉の木の下で荷車の幻想は終わりました。気持ちも軽くなり、足の痛みも忘れられました。

翌日、布流滝まで来てお不動様に向かって拝みましたが、お姿が見えなかったのです。「お不動様、どうしたのかしら?」と

思い、御護摩受付所の人に布流滝のお不動様がいないことを話しました。すると、昨日イノシシに落とされた話をしましたところ、落ちたその日にその石材屋さんがお山に仕事に来ていたので、運んだことを教えて頂きました。

後日、石材屋さんに布流滝のお不動様が落とされた話をしましたところ、落ちたその日にその石材屋さんがお山に仕事に来ていたので、運んだことを教えて頂きました。幻想で私が仏様を運んだことが不思議でした。二本の杉の木の方向が安置された場所に当たりましたので、お不動様との御縁を深く感じました。

健康登山の皆様へ

高尾山報投稿の御案内
御護摩受付所では、皆さまの「健康」に関する思いや思い出・習慣、又は「健康登山」を通じて経験した出来事などの心温まるお話を聞かせて頂いております。

そこで、皆様のお話を多くの方々に届けたいです。御護摩受付所に「投稿箱」を設置致しまして、皆様から投稿頂いたお話を掲載させていただきます。

※ 投稿頂きました作品は全て掲載できるような努めますが、当山の判断で掲載しない場合もあります。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございます。ご了承ください。

※ 投稿頂きました作品は全て掲載できるような努めますが、当山の判断で掲載しない場合もあります。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございます。ご了承ください。

「高尾山健康登山の証」のお勧め

年間約二百八十万の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五万人の方々が会員となられております。

期限はございませんので、御自分のペースで楽しみください。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すペー지가あり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や健康登山者限定の記念品などと交換もできます。



帳面……七百円
スタンプ……百円

郵送御護摩申し込み受付について

高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行を行っております。遠方の御信徒や、参拝できない御信徒の皆様のために、御護摩札の郵送をお受けしております。

手紙、FAX等での申し込みをお願いしておりますが、「高尾山薬王院公式ホームページ」内の御護摩祈禱の御案内からインターネットにて、直接お申し込み頂くことが出来ますので、是非ご利用頂きますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 ☎0421-661-1125
「郵送御護摩係」まで

七五三身の上安全祈願

「七五三」とは、皆様方の可愛いお子様が、これから健康にすくすく育ちます様に、又、交通事故などに遭わないように、との願いを込めて寺社にお参りするという行事です。

高尾山でも御本尊・飯縄大権現様の御加護を願って、毎年多くのお子様がお参りに訪れております。十月〜十一月の間、山上「御護摩受付所」にて、「七五三祝い子育て祈禱」を受け付けております。

どうぞ皆様で御来山なされますよう、ご案内申し上げます。

※十一月中の土・日・祝日には大変な混雑が予想されますので、時間に余裕を持って早めの御来山をお勧めしております。